

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2023年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学科				
科目名称	庭園学演習				授業形態	演習			
科目コード	710053	単位数	4単位	配当学年	2	実務経験教員	○	アクティブラーニング	○
担当教員名	牧田 直子							ICT活用	○
授業概要	<p>本授業では、主に住宅庭園を対象地とし、小さな庭園でも設計（施工するために必要な図面の作成）ができることを目指す。造園を学ぶものとして、最低限必要である設計の基礎的知識（設計図の読み取り方、縮尺など）と設計技術（平面図、立面図、パースの作成）とプレゼンテーション力を習得する。</p> <p>本授業における技術指導は個別指導で行う。</p> <p>住宅と庭園の設計施工に10年以上携わった経験を持つ教員が担当する科目。</p> <p>2年生の科目となっているが、3、4年生も取得可能。</p>								
関連する科目	<p>事前に基礎製図演習Ⅰ、Ⅱを履修することが望ましいが、個別指導していくので、履修していない場合でも図面を描けるように指導していく。</p> <p>本講義と同時に庭園学、造園ガーデニング実習Ⅰ、造園植栽論、測量学、測量学実習を履修し、設計と施工の両面で学習することが望ましい。</p> <p>事後に造園ガーデニング実習Ⅱ、敷地計画論演習を受講し、さらなるレベルアップをはかることが望ましい。</p> <p>住宅庭園図は農業高校の造園系の課題として取り扱われる場合もあるので、農業高校教員（造園系）を目指している場合にも履修をすすめていた。</p>								
授業の方法と進め方	<p>スタジオ形式で進める。</p> <p>課題について説明した後、個々のペースで作業を進める、個々の作品について、作成方法やテクニックについては個別指導で行っていく。</p> <p>以下の授業計画は進捗の目安である。目安まで進められていない場合は授業時間外で仕上げる。</p>								
授業計画【第1回】	庭園図面の表現方法①道具の使い方、線の引き方								
授業計画【第2回】	庭園図面の表現方法②植栽図の描き方								
授業計画【第3回】	庭園図面の表現方法③平面図の作成方法、三角スケールの使い方、縮尺方法								
授業計画【第4回】	庭園図面の表現方法④平面図の作成								
授業計画【第5回】	庭園図面の表現方法⑤パース作成								
授業計画【第6回】	庭園図面の表現方法⑥パース作成のつづき								
授業計画【第7回】	庭園図面の表現方法⑦図面の着色								
授業計画【第8回】	庭園図面の表現方法⑧図面の着色のつづき								
授業計画【第9回】	植栽計画①フローランテ宮崎 月のガゼボ課題説明、コンセプト作成、ゾーニング、構成要素、資料収集								
授業計画【第10回】	植栽計画②フローランテ宮崎 月のガゼボ計画図作成								
授業計画【第11回】	植栽計画③フローランテ宮崎 月のガゼボプレゼン資料作成								
授業計画【第12回】	植栽計画④フローランテ宮崎 月のガゼボプレゼン								
授業計画【第13回】	住宅庭園計画図①課題説明、課題把握、整理								
授業計画【第14回】	住宅庭園計画図②ゾーニング								
授業計画【第15回】	住宅庭園計画図③ゾーニング、平面図作成								
授業計画【第16回】	住宅庭園計画図④平面図作成								
授業計画【第17回】	住宅庭園計画図⑤立面図作成								
授業計画【第18回】	住宅庭園計画図⑥立面図作成のつづき								

授業計画【第19回】	住宅庭園計画図⑦パース作成
授業計画【第20回】	住宅庭園計画図⑧パース作成のつづき
授業計画【第21回】	住宅庭園計画図⑨着彩、仕上げ
授業計画【第22回】	住宅庭園計画図⑩着彩、仕上げのつづき
授業計画【第23回】	住宅庭園計画図⑪プレゼン資料の作成
授業計画【第24回】	住宅庭園計画図⑫プレゼン資料作成のつづき
授業計画【第25回】	住宅庭園図面計画図⑬プレゼンテーション
授業計画【第26回】	住宅庭園図面計画図⑭プレゼンテーション
授業計画【第27回】	日本庭園計画図①課題説明、コンセプト作成
授業計画【第28回】	日本庭園計画図②平面図作成
授業計画【第29回】	日本庭園計画図③パース作成
授業計画【第30回】	日本庭園計画図④着彩、仕上げ
授業の到達目標	住宅庭園について正しく理解し、設計ができることを目標とする。 周辺環境を理解し、さらに実現性のある独自のアイデアを盛り込み提案ができること。 【専門分野のスキル】【プレゼンテーション力】
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外の学習【予習】	情報収集（庭園の構成要素、サイズや様式など）を行う。
授業時間外の学習【復習】	授業内に予定した課題が終わらない場合は復習時間を利用して仕上げる。
課題に対するフィードバック	課題に対する評価（発表時）
評価方法・基準	課題の提出及び出来栄によって評価する。 住宅庭園図：日本庭園＝30点 受託庭園図：テーマのある庭園＝70点 評価基準＝①図面のスケールが正しいこと、②独創的なプランであること、③実現できそうなプランであること、④周囲の環境に配慮できていること、⑤居住者の利用を考えていること、⑥製図の手順が理解できていること、⑦平面図、パースが正しく描けていること、⑧納期が守れること、⑨図面やプレゼン資料が美しいこと ⑩プレゼンできちんと伝えられていること
テキスト	都度配布
参考書	講義時に紹介する
備考	